

# 国文学研究資料館所蔵碧洋白田甚五郎文庫分類目録

海野圭介・神作研一・糸 汐里・小林健二編

\*キーワード

白田甚五郎・後拾遺和歌集・私家集・奈良絵本・歌謡

## 解題

碧洋白田甚五郎文庫は白田甚五郎先生（國學院大學名譽教授、一九一五―二〇〇六）の蔵書で、先生の御遺志によって御令息の正矢氏（桜美林大学名誉教授）により二〇一九年に国文学研究資料館に寄贈された。白田先生は国文学研究資料館設立の功労者の一人であり、設立に向けて学界が始動した際には、設立推進連絡協議会の事務局を自らの研究室で引き受け、毎月の例会の開催や、文部省（当時）や政治家への陳情も行ったことである。そうした経緯から国文学研究資料館に対しては格別の思い入れがあり、それ故の寄贈であったと思われる。また、正矢氏の言によると、国文学研究資料館に寄贈することにより、自分の蔵書を広く閲覧に供し、国文学研究の進展に役立ててもらいたいという希望もあったようだ。なお「碧洋」は先生の雅号である。

白田先生の学問は神話・物語・説話・歌謡・芸能の多岐にわたり、時

代的にも古代から近世の広範囲に及ぶ。一九七七年に日本口承文芸学会を設立し、口承文芸において学界を牽引していた先生の信条は、一にも二にも採訪であったようだが、文献においても資料の採集を疎かにされていないことが集書からも窺える。寄贈書は全二四五点（明治本四点も含む）。以下、私にこれはという注目書をあげて文庫の紹介をしよう。

碧洋白田甚五郎文庫（以下、「白田文庫」と略記）でまず驚かされるのが和歌に関する書が多いことである。先生の口承文芸を主とした研究領域を知る者としては意外な感じを受けるが、実は青年期には北原白秋に傾倒して短歌の実作に打ち込み、早期の研究では『平安女流歌人』（青梧堂、一九四三）を著すなど、和歌には人一倍関心があったようである。

歌書中でも眼を引くのが、『後拾遺集』の古写本である。103後拾遺和歌抄（伝為家筆、存卷一四）、104後拾遺和歌抄（伝寂蓮筆、存卷一九）、105後拾遺和歌抄序（存卷一）は、それぞれ卷子の端本であるが室町期

以前の古写本で、103・104は鎌倉時代にまで遡る。他の冊子の勅撰集では108後拾遺和歌抄（伝細川持之筆）、112玉葉和歌集があり、112は濱口博章の「正中二年奥書玉葉和歌集攷」（『甲南大学文学会論集』一〇号、一九五九・二一）によって夙に知られた資料である。

私家集においても、128四条中納言は江戸前期写の前田家旧蔵本であり、『定頼集全注釈』（風間書房、一九八九）に用いられている。132寂蓮家集は寛文元年写であるが文亀年中の飛鳥井榮雅の奥書を持つ一本。これをはじめ歌書には「紅梅文庫」前田善子旧蔵本がいくつか含まれる。

他に鎌倉中期写の列帖装を卷子に改装した115〔現存和歌六帖〕や室町後期写の110千載和歌集（伝蜷川新右衛門親当筆）、116古今名公批点和歌がある。116は定数歌類の点の付いた歌を類聚したもので西荘文庫の旧蔵にかかるとの。

物語では、46住吉物語は室町後期の古写本で「はつしぐれ」の内題がある。桑原博史氏の『中世物語研究―住吉物語論攷―』（二玄社、一九六七）によると第二類本に属する伝本である。37竹取物語は江戸前期写の嫁入り本と見られる金襴表紙列帖装の美本。43堤中納言物語も江戸前期写の列帖装の美本で、帙題簽に「九条家旧蔵」とある。44〔とりかへばや〕も江戸前期の写本として注意されよう。

お伽草子では、70子易の本地をまずあげたい。朝倉重賢筆と推定される詞書の絵巻で、伝本が少ない中で貴重な一本である。国文学研究資料館二〇一九年企画展示「本のかたち 本のこころ」でいち早く紹介された。72松たけものかたりは寛文・延宝頃写の奈良絵本で、「あいおいの松」

「笠間長者鶴亀物語」を一体にしたもの。「月明荘」の印がある美本。ちなみに、白田文庫には「月明荘」の印を有するもの、すなわち弘文荘（反町茂雄）より購入した善本が多い。63〔蛤の草子〕は江戸中期写の横本の奈良絵本。「新渡戸図書」の印が押される。73すみた川は江戸中期写の横本奈良絵本で下巻のみの端本であるが、能「隅田川」を翻案した珍しい物語草子である。62いつくしまのほん地は江戸前期写の横本の奈良絵本で下巻のみ。元禄頃写の74たかやなぎは横本の奈良絵本で、絵が抜かれているが、他に類を見ない物語。先生が「たかやなぎ」解題（『白田甚五郎著作集』第七巻）で詳しく紹介している。以上が奈良絵本である。他に、69一本菊は「宝玲文庫」の印を持つ江戸初期写の大本。64諏訪明神縁起は「正保三年林鐘書之」の奥書を有する重要な一本。刊本からも一つ、71三人ほうしは江戸前期刊の半紙本で西村屋版である。

軍記物語では、『曾我物語』が三本存する。60曾我物語は江戸前期写の半紙本列帖装に金泥絵表紙の豪華な揃い本。保存もよく大名家によって誂えられたものであろう。61曾我物語は〔江戸前期〕写の巻一のみのも端本。戸川浜男の旧蔵である。59曾我物語は江戸初期の巻三のみの写本。「章段を別けず大山寺本系統、昭和十八年三月十四日戸川浜男」の識語があり、今後の研究が待たれる一本である。

日記では、94蜻蛉日記は江戸前期の写本で女人の筆になる特大本<sup>2</sup>。説話では、江戸前期写の58世継物語、50宇治拾遺物語は万治二年刊（林和泉掾）があるが、無住関係のものとして、51沙石集（正保四年刊、小嶋弥左衛門）、53雑談集（寛永二十一年）刊・延宝七年印、永田長兵衛、

30聖財集（寛永二〇年刊、野田弥兵衛）がある。私事になるが、大学院の先生のゼミで『沙石集』を輪読していたことを思い出す。直接には関わらないが、『三國伝記』の抜粋である52新選沙石集（江戸中期刊、藤屋武兵衛）もある。これらは先生が教育のために集書していたことが窺われる例だ。

幸若舞曲は中世の語り物芸能であるが、江戸時代には奈良絵本など読み物としても流布した。219「富樫」は、現在は絵巻二軸であるが元は江戸前期写の横型の奈良絵本である。「富樫」の奈良絵本としては珍しいもの。『国文研ニュース』五七号「表紙絵資料紹介」に載る。<sup>3)</sup>220「百合若大臣」も江戸中期写の横本の奈良絵本。218伏見常盤は「伍枝与五郎慶長十年二月吉日」の奥書を有する横本の写本。「伏見常盤」は年記のある古写本が他にも数本あるがそれらに加えられる好資料である。

本文庫の軸となる歌謡に移ろう。明空・比企助員編の宴曲153撰要両曲巻は、『統日本歌謡集成』巻二（東京堂出版、一九六一）に所収される。応永二〇年の古写本で、蔵書の中でもよく知られた重要資料である。217上覧躍小歌は寛永期に書写された、江戸城内で催された踊歌を記したもので、先生の「寛永期公方家上覧躍小歌の考察」（『白田甚五郎著作集』第三巻）に詳しい。150伊勢大神宮／神遊歌集は江戸前期写の列帖装で先生が「伊勢の神楽歌」（『白田甚五郎著作集』第四巻）で紹介している。小汀利得の旧蔵書。

歌謡の資料で注目すべきは、江戸時代後期に刊行された俗謡を合綴した資料群である。これら一枚物あるいは数丁の俗謡は散逸の危険性をは

らんだ資料であるが、保存良くまとまって残されており、今後の俗謡研究に益するものとなる。181「ひょうごくどき俗謡合綴」（大坂いとや市兵衛刊の薄冊四編合綴）、171「新音頭九種合綴」（伊勢木村藤兵衛刊の薄冊九編合綴）、228宮古路豊後節寄せ本（薄冊二七編合綴）、183歌祭文（薄冊二三編合綴）などである。

以上、駆け足であるが文庫中で注目すべき資料をあげてみた。こうして通覧すると、白田文庫の蔵書は研究の資料としてはもちろんであるが、教育の材料として集められたものでもあることが明白である。その多くは学界未紹介のものであり、今後共同研究などで資料的価値を明らかにしていくべきであろう。なによりも、白田先生がそれを望まれていると思う。なお、先生の学問に触れたい方は『白田甚五郎著作集』全八巻（おうふう、一九九五―一九九九）を御覧いただきたい。

#### 注

(1) 恋田知子「奈良絵本・絵巻の筆者」（人口敦志ほか編『本のかたち本のことろ』所収、国文学研究資料館企画展示図録、二〇一九年）、同『子やす物語』考―諸本と典拠―（『藝文研究』一一三三号、二〇二二年一月）。

(2) 岡田貴憲『蜻蛉日記』残欠本小考―碧津白田甚五郎文庫本の位置―（『語文研究』一三三二号、二〇二一年一月）。

(3) 条汐里「富樫」（『国文研ニュース』五七号、二〇二〇年六月）。

（小林健二）

## 目録凡例

一、本目録は、国文学研究資料館所蔵の碧洋白田甚五郎文庫分類目録である。

### 〈収録範囲〉

一、白田甚五郎先生の旧蔵書全二四一点から成る（明治本四点は除いた）。

一、一点だけが準漢籍が含まれるため、【国書の部】と【準漢籍の部】を立てた。

### 〈分類〉

一、国書の分類は、原則として『改訂内閣文庫国書分類目録』（国立公文書館内閣文庫、一九七四・七六）に依拠し、なお『日本古典籍分類表（試案）』（国文学研究資料館分類研究会編刊、二〇〇八）を参照して定めた。

一、準漢籍の分類は、四庫分類に依拠した。

### 〈排列〉

一、国書に関する分類網目内の排列は、おおむね成立年代順（刊本しかないものは刊行年次順）に拠った。「○」を付して、時代を区切ったり、同類の書をまとめて掲出したりしたところもある。

### 〈記載事項〉

一、紙幅の都合により、記述は棒目録（目録事項）を旨とし、特記すべき事項を適宜「＊」以下に示した。

一、目録事項は、通し番号・書名・巻数・編著者名等・刊写年・刊写者・書型・冊数・請求記号から成る。

一、著録者による推定事項には「（ ）」を付す。

一、文字は、原則として通行の字体に従った。

一、「＊」以下の「／」は改行を示す。

一、虫損等による判読不能箇所は□で示した。

### 〈書名〉

一、書名は、原則として本文巻頭内題に拠る。ただし、内題のないものについては、文献の性格に応じて外題・目録題・序題・封面題などから適宜採り、その旨を（ ）内に注記した。

一、書名のないもの、また書名があっても内容に徴してそれが不適切と判断されるものには、「（ ）」を付して新たに書名を与えた。

一、外題を採る場合は、原題簽（刊本）または本文同筆書名（写本）に拠るのを原則とする。

一、冠称（角書）は（ ）内にくるんだ。

一、書名と異なる整理書名や統一書名等があるものについては、それらを適宜「＊」以下に掲出した。

### 〈その他の目録事項〉

一、巻数は、「一巻」の場合は表記を省略した。

一、編著者名は、最も通行するものをもって記載した。文献に応じて注釈者や画者等を記したものもある。

一、書写年は、明確なそれが不明の場合には、「〔室町後期〕写」の如く、

推定年代を記した（刊年の推定記載もこれに準ずる）。

一、刊年は、可能な限り「刊・印・修」を用いて表記するように努めた。「刊」は版木が刊刻された時点を、「印」は実際に印刷された時点を、「修」は版木に修訂が施された時点を、それぞれ示す。

一、刊行者は、二肆までを採る。三肆以上の場合には「吉田四郎右衛門等三肆」の如く示した。ただし、封面・広告等によって主版元が推定できる場合はこの限りではない。

一、刊行者の所在地は、「皇都」「平安」等は「京」に、「江都」「東武」等は「江戸」に、「浪華」「摂陽」等は「大坂」にそれぞれ統一し、他はおおむね記載のままを採った。

一、文献に応じて、蔵版者を記載したものもある。

一、書型は、「特大」（特大本）、「大」（大本）、「半」（半紙本）、「中」（中本）、「小」（小本）、「特小」（特小本）、「栞」（栞型本）、「横」（横本）などと記し（以上、袋綴じ本）、これ以外の列帖装や卷子本、幅物については、それぞれ「帖」、「軸」、「幅」と表記した。

一、仮綴じのものは「仮」、合冊されているものは「合」を、それぞれ付した。

#### 〈請求番号〉

一、碧洋白田甚五郎文庫には、「29」の文庫番号が付与されている。

#### 〈\*以下の記述事項〉

一、「\*」以下には、絵入、合綴されている資料は細目、序跋者、「列帖装」など袋綴じ以外の装訂、「綴じ表紙」など紙表紙以外の表紙、広告、

名家による書入・印記等々、有用と判断される情報を適宜記述した。

#### 〈その他〉

一、末尾には「書名索引」を付して検索の便に備えた。作成は糸汐里が担当した。

一、文献調査に先立って、国文研の司書たちの編集にかかるデータを適宜参照・利用した。出納への協力も含めて、彼らの日頃の尽力がなければ、この目録は到底編纂し得なかつたことを改めて深く肝に銘じる。学術情報課の片岡真課長・和田洋一課長補佐・竹村寛子係長をはじめとするすべての司書の皆さまの厚情に感謝したい。

一、文献調査と目録本文の作成は、海野圭介・神作研一・糸汐里・小林健二・瀧山風（総合研究大学院大学大学院生）の五人で行い、なお神作が分類・排列した上で、条とともに全体を整理した。

目録目次

【国書の部】

I 総記

- 1 叢書……………580
- 2 随叢……………580

- (1) 雑筆……………580
- (2) 雑考……………580

II 神祇 附国学

- 1 神道……………581

- (1) 総記……………581
- (2) 諸家神道……………581

- (3) 雑……………581
- ①復古神道……………581

- 2 神社……………582
- (1) 神宮……………582

- ①正宮……………582
- (2) 諸神社……………582

III 仏教

- 1 総記……………584
- (1) 概論・通説・雑著……………584

- (2) 縁起……………584

- 2 儀軌……………584

- 3 宗派……………584

- (1) 真言宗……………585

- (2) 浄土宗……………585

- (3) 真宗……………585

IV 文学

- 1 国文……………585

- (1) 小説……………585
- ①古物語 附擬古物語……………585

- ②説話物語……………586
- ③歴史物語……………587

- ④軍記物語……………587
- ⑤室町物語……………588

- ⑥近世小説……………589
- (a) 仮名草子……………589

- (b) 浮世草子……………590
- (c) 読本……………590

- (d) 滑稽本……………590
- (e) 洒落本……………590

- (f) 人情本……………591
- (g) 合巻……………591

- (2) 随筆……………591

- (3) 日記・紀行……………592

- (4) 消息……………592

- 2 漢文……………592

- (1) 狂詩……………592

- 3 和歌……………592

- (1) 歌論・作法……………592

- (2) 撰集……………593

- ①勅撰集……………593

- ②私撰集……………595

- (3) 家集……………596

- (4) 歌合……………599

- 4 俳諧……………599
- (1) 俳論・作法……………599

- (2) 撰集……………600
- 5 古代歌謡……………600

- (1) 神楽歌・催馬楽……………600
- (2) 宴曲……………600

V 音楽・演劇

- 6 近世歌謡……………601
- 1 総記……………607
- 2 音楽……………607

3	古代劇……………	608
(1)	繪記……………	608
(2)	幸若舞曲……………	608
4	能樂……………	608
(1)	狂言……………	608
5	浄瑠璃……………	608
<b>VI 歴史</b>		
1	日本史……………	610
(1)	系譜……………	610
<b>VII 地理</b>		
1	日本地誌……………	610
<b>VIII 教育</b>		
1	教訓……………	611
2	心学……………	611
3	教科書……………	611
(1)	往来物……………	611
<b>IX 諸芸</b>		
1	華道……………	611
2	遊技……………	612
(1)	法鷹……………	612

**【準漢籍の部】**

I	子部……………	612
(1)	道家類……………	612

【国書の部】

I 総記

1 叢書

1 群書類従

卷第一三五・一三六・三六九・五〇五 塙保己一編〔江戸後期〕刊  
 \*大和綴。細目八富士山記(都良香)・狐媚記(大江匡房)・暮年記(同)・遊女記(同)・傀儡子記(同)・浦島子伝・玉造小町子壮衰書・将門記・世諺問答。

大一冊 29 | 118

2 随叢

(1) 雑筆

2 夜聖

三卷 斎部伊紀著 宝曆二二年刊(京、瀬尾源兵衛)  
 \*口絵(墨印)アリ。自序。閱斎跋。版心下部「春水堂藏」。

大三冊 29 | 133

3 閑散余録

存卷下 南川金溪著 天明二年刊(伊勢、大森伝右衛門等四肆)。  
 \*高文角跋。漢字カタカナ交り。

大一冊 29 | 121

4 桂林漫録

二卷 桂川中良著 寛政二二年刊(江戸、前川六左衛門等五肆)  
 \*絵入。早印。源忠道・法眼甫周序。葛西因是・永斎跋。桂林舎藏版。前川六左衛門ノ版元印「栄文ノ堂印」アリ。印記「雲林文庫」。

大二冊 29 | 116

5 人狐弁惑談

陶山尚廸著 文政元年刊(京、林権兵衛)  
 \*漢字カタカナ交り。頼山陽・後藤栗庵序。自跋。

大一冊 29 | 117

6 桜の林

二卷 千家尊澄・岩政信比古著 安政三年跋刊(名古屋、永楽屋東四郎等七肆)  
 \*市岡和雄序。出川道年・吉川景明跋(卷一)。植松有園序。西村清直跋(卷二)。

大合一冊 29 | 119

(2) 雑考



- 7 答問録 本居宣長著、千村伸雄校〔天保六年〕刊（名古屋、永楽屋東四郎）  
\*尾陽東壁堂藏書目録ヲ付ス。刊年ハ『本居宣長全集』第一卷「解題」（筑摩書房、一九六八）ニ拠ル。 大一冊 29 | 156
- II 神祇 附国学
- 1 神道
- (1) 総記
- 8 神代紀葦牙 三卷 栗田土麿著 文政二年跋刊（大阪、大野木市兵衛等一八肆） 大三冊 29 | 135  
\*封面題「神代記葦牙」。序題「神代卷葦牙」。自序。本居大平序。石川依平跋。青柳種信跋。大江真船跋。
- (2) 諸家神道
- ① 復古神道
- 9 神代正語 三卷 本居宣長著 寛政元年序刊 大三冊 29 | 138  
\*栗田土満序。自序。横井千秋跋。下卷末ニ「尾張書肆東壁堂製本目録 名古屋玉屋町／永楽屋東四郎」アリ。
- 10 古史徴 四卷 平田篤胤著 文政二年刊（書肆名欠） 大一冊 29 | 139  
\*山崎篤利序。新庄道雄そへごと。刊年ハ第四冊（一冬）卷末ニアリ。第一一冊末尾ニ「伊吹廼屋先生及門人著述刻成之書目（二字分アキ）塾藏版」アリ。
- 11 古道大意 二卷 平田篤胤著 文政七年序刊 大二冊 29 | 137  
\*漢字カタカナ交リ。小沢三折序。平田鉄胤序。下卷末ニ「伊吹廼屋先生及門人著述刻成之書目（二字分アキ）塾藏版」アリ。
- 12 大道或問 平田篤胤著、碧川好尚校 安政四年序刊 半一冊 29 | 154
- 13 弘仁曆運記考 二卷 平田篤胤著 〔天保七年〕刊 大一冊 29 | 166  
\*北原信質序、羽多野敬雄序、岩崎長世跋。

- 14 しものまにまに 平田篤胤著 〔江戸後期〕写 半一冊 29 | 155  
 \*別書名「撞木随」。内題ニ「一の巻」トアリ。
- 15 古道訓蒙頌 久保季茲撰 安政四年刊（伊吹迺屋塾） 大一冊 29 | 153  
 \*序ニ「鶴峰戊申」トアリ。上杉朝在ノ奥書アリ。柱刻「杉舎」。
- 16 玉銚物語 矢野玄道著、矢野直道校 文久三年奥刊（無刊記） 大一冊 29 | 151  
 (3) 雑
- 17 蜻蛉の道草 存下編之六 多田義俊口授、丹羽桃丸記 天明四年刊（無書肆名） 大一冊 29 | 147  
 \*漢字カタカナ交り。
- 18 くす花 二卷 〔享和三年〕刊・後印（名古屋、永楽屋東四郎等一三肆） 大二冊 29 | 158
- 2 神社  
 (1) 神宮  
 ①正宮
- 19 大神宮儀式解 存卷一・二・四・一六・二七・二一 中川経雅著 〔江戸後期〕写 大六冊 29 | 132  
 \*印記「波伯部／百樹蔵」（上田百樹）。
- 20 紀伊丹生山縁起（外題） 〔江戸前期〕写 一軸 29 | 7  
 \*細目「太政官符紀伊国司」（弘仁七年）、「遺告住山弟子等」（承和元年）、「丹生津比売及高野大明神仕丹生祝氏」（延暦一九年）、「絵図」（承和三年）カラ成ル。
- 21 〔北野天満宮遷宮史料〕 〔江戸中期〕写 五軸 29 | 9  
 \*改装、外題ハ後補。箱蓋表ニ「仮遷宮之記 五卷」、箱蓋裏ニ「大正二年三月二十四日修復／吉見光子」ト墨書。細目

「仮遷宮之記」「仮遷宮之記」「正殿遷幸之記」「御神輿行列」「外遷宮之次第」。『北野天満宮史料 遷宮記録』（北野天満宮史料刊行会編）一巻所収、寛文七年～九年記録ニ内容近似。

22 〔北野天満宮遷宮史料〕

〔江戸中期〕写

一軸 29 | 10

\* 改装、外題「北野社外遷宮入用覚」（後補）。寛文七・八年松梅院禪深ヨリ御奉行様宛。『北野天満宮史料 遷宮記録』（北野天満宮史料刊行会編）一巻所収、「寛文八年北野社正遷宮入用覚」ニ内容近似。

23 〔北野天満宮遷宮史料〕

〔江戸中期〕写

一軸 29 | 11

\* 改装、外題「北野社内陣之御道具之覚」（後補）。寛文八年松梅院禪深ヨリ御奉行様宛。『北野天満宮史料 遷宮記録』（北野天満宮史料刊行会編）一巻所収、「寛文五年当社道具日記」ニ内容近似。

24 〔北野天満宮遷宮史料〕

〔江戸中期〕写

一軸 29 | 12

\* 改装、外題「寛文七丁未曆十一月二十一日外遷宮之記」（後補）。奥書「寛文第七年丁未曆十一月二十一日御殿大預／神事奉行松梅院禪珠」。『北野天満宮史料 遷宮記録』（北野天満宮史料刊行会編）一巻ノ「寛文七年外遷宮記」ニ内容近似。

25 〔北野天満宮遷宮史料〕

〔江戸中期〕写

一軸 29 | 13

\* 改装、外題「寛文九年／正遷宮之記」（後補）。内題「寛文九年巳酉年二月四日／正遷宮記」。『北野天満宮史料 遷宮記録』（北野天満宮史料刊行会編）一巻ノ「寛文九年正遷宮記」ニ内容近似。

26 巖島大明神縁起（扉題）

寛政三年写（長之進家）

大一冊 29 | 146

\* 内題「大明神縁起」。寛政三年長之進家奥書アリ。

27 豊前国宇佐八幡宮略縁記

〔江戸後期〕写

大一冊 29 | 145

\* 絵入（手彩色）。

3 国学

28 玉くしげ

本居宣長著

寛政元年刊（名古屋、永楽屋東四郎等三肆）

大一冊 29 | 157

29 うひ山ふみ \*名児屋越智広海蔵版。尾陽東壁堂蔵書目録アリ。  
本居宣長著 寛政一〇年刊(伊勢、篠田伊十郎等八肆) 大一冊 29 | 159

Ⅲ 仏教  
1 総記

(1) 概論・通説・雑著  
30 聖財集 三卷 無住道暁著 寛永二〇年刊(京、野田弥兵衛) 大合一冊 29 | 131

31 出定笑語 四卷 平田篤胤著 [嘉永元年]刊 大四冊 29 | 142

(2) 縁起  
\*嘉永二年序刊ノ木活字版ノ刊写本ナリ。漢字カタカナ交リ。渡辺資政序。

32 諸原起類聚鏡(外題) [江戸後期]写 半一冊 29 | 144

\*細目「武蔵国六阿弥陀縁起」「子聖大薩埵略縁起」「如意輪正觀世音古縁略写」「子安觀世音略縁起」「前川寺觀世音并略縁起」「龍宝山愛染院觀音寺略縁起」「慈林寺薬師如来略縁起」「東都中野明王山宝仙寺并井頭池湧出略縁起」「同当寺靈物靈宝一二記之」「富士山出現輿傍地藏尊略縁起」「絵本塵摺問答」「白隠禪師施行歌」「血盆経和讃」「金剛界五仏真言」「順礼御詠歌」。

2 儀軌  
33 真俗仏事編 六卷 子登編 享保一三年刊(大坂、小嶋屋勘右衛門等三肆) 大六冊 29 | 140

\*漢字カタカナ交リ。外題(原題簽角書)「(和/漢)」。霞遊跋。卷六末尾ニ吉文字屋市兵衛蔵版ノ書目ヲ付ス。

3 宗派

(1) 真言宗

34 文覚上人行略抄 五卷 南溟著 〔宝暦二年〕刊・〔明治〕印（京、藤井文政堂山城屋佐兵衛） 大三冊 29 | 134

\*漢字カタカナ交り。外題「説教／因縁」文覚上人行状記」（後補書き題簽）。

(2) 浄土宗

35 寒念仏和さん 〔江戸後期〕写 中一冊 29 | 150

\*統一書名「寒念仏和讃集」。表紙二「安永五年十月吉日」トアリ。識語「信濃伊奈郡向方村／よろづや蔵」。

(3) 真宗

36 うすひき歌信抄 諦住著 安永八年刊・文政一一年印（京、丁子屋庄兵衛） 半一冊 29 | 149

\*自序。

IV 文学

1 国文

(1) 小説

① 古物語 附擬古物語

37 竹取物語（外題） 〔江戸前期〕写 大一帖 29 | 79

\*列帖装。金欄表紙。「竹取物語／中山／前大納言篤親卿」ノ札貼付（見返シ）。帙題二「竹取物語 中山篤親手写 元禄頃写」（森銚三）筆）トアリ。

38 〔伊勢物語〕 〔江戸前期〕写 半一帖 29 | 96

\*列帖装。雲母摺文様素紙表紙。鳥ノ子。朱書アリ。

39 大和物語抄（外題） 存卷一～四 北村季吟注 〔承応二年〕刊 大四冊 29 | 105

40 〔大和物語抄〕 存卷三～五 北村季吟注 〔江戸後期〕写 大三冊 29 | 104

41 [宇津保物語] \*外題「やまと物語抄／異本」。九一段カラ一六五段マデ。北村季吟『天和物語抄』ノ刊写本ナリ。  
万治三年刊(京、林和泉掾) 半合一冊 29 | 91

42 宇津保物語(外題) \*外題「宇津不物語」(後補書キ題簽)。絵入。最終丁柱部分ニ刊年「万治三庚子歳仲秋日」アリ。  
延宝五年刊・文化三年修(書肆名欠) 大合八冊 29 | 100

43 堤中納言物語 \*絵入。朱書アリ。印記「谷千生所藏」(谷千生)。  
〔江戸前期〕写 榑一〇帖 29 | 16

44 [とりかへばや] \*列帖装。色替料紙。印記「紅梅／文庫」(前田善子)、「藤」、「月明荘」(反町茂雄)。帙題簽ニ「九條家旧藏／元禄頃写」トアリ。  
〔江戸前期〕写 大一冊 29 | 106

45 とりかへばや(外題) \*朱書(校合注記)アリ。外題「ものがたり」。印記「島川文庫」(島川鎌満)。  
〔江戸中期〕写 大四冊 29 | 14

46 住吉物語 \*列帖装。銀欄表紙。内題「はつしくれ 上下」。印記「月明荘」(反町茂雄)。帙題ニ「はつしくれ物語 足利末期古写」トアリ。  
二卷 〔室町後期〕写 大合一帖 29 | 81

47 すみよし物かたり(外題) \*列帖装。箱入。「東園殿基賢 住吉物語(印)」(「琴山」印)。中将藤原基賢ニヨル奥書アリ。  
本「(森銚三)筆」トアリ。『古典文庫』二二三六ニ翻刻。  
〔江戸前期〕写 榑一帖 29 | 25

48 住吉物語(外題) \*列帖装。鳥ノ子。挟込ノ内曇紙片ニ「住吉物語／久世／三位通夏卿」ト墨書。  
〔江戸前期〕写 大一帖 29 | 26

49 住吉物語 \*奥書「住吉物語少人御所望故以秘本興行也」。  
二卷 〔江戸前期〕写 特大合一冊 29 | 78

② 説話物語

- 50 宇治拾遺物語（目録題）一五卷（欠惣目録一卷） 万治二年刊（京、林和泉掾）  
 \* 絵入。
- 51 沙石集 一〇巻 無住道暎撰 正保四年刊（京、小嶋弥左衛門）  
 \* 卷二入レ本。漢字カタカナ交リ。
- 52 新選沙石集 五巻 虚舟撰 〔江戸中期〕刊（京、藤屋武兵衛）  
 \* 後補書キ題簽。近代ノ校訂ノ朱書アリ。浜口惠璋校訂『新撰沙石集』（文明堂、大正二年）ノ原稿カ。印記「梧陰文庫」（浜口惠璋）。内容ハ『三国伝記』ノ抜粹。
- 53 雑談集 一〇巻 無住道暎撰 〔寛永二二年〕刊・延宝七年印（京、永田長兵衛）  
 \* 墨書・朱書アリ。漢字カタカナ交リ。
- 54 唐物語提要 清水浜臣校注 〔江戸後期〕写  
 \* 文化六年序刊本ノ刊写本ナリ。
- 55 本朝怪談故事 四巻 春鶯廊元輯 正徳六年刊（京、小河太左衛門・京、秋田屋総兵衛）  
 \* 漢字カタカナ交リ。外題（原題簽）角書「和漢／合類」。
- ③ 歴史物語語
- 56 大鏡 八巻 〔江戸前期〕写  
 \* 帙題ニ「大鏡 寛文元禄頃写 四冊」（森銚三）トアリ。
- 57 大鏡（目録題） 八巻 〔江戸前期〕刊・後印（無刊記）  
 \* 印記「育徳館」（豊津藩校）。
- 58 世継物語 〔江戸前期〕写 大一冊 29 | 85  
 \* 所謂「小世継物語」。外題「今は昔」。東大図書館蔵「今は昔」等ト同内容。印記「尚舎源忠房」（藍文）「文庫」（藍文）（松平忠房）。
- ④ 軍記物語語

59 曾我物語 存卷三 〔江戸初期〕写 大一冊 29 | 94

\* 識語「章段を別けず大山寺系統」、「昭和十八年三月十四日／戸川瀨男」。印記「賓南／過眼」「残花書屋」「賓／南」（戸川浜雄）。

60 曾我物語 一二巻 〔江戸前期〕写 半一二帖 29 | 92

\* 列帖装。鳥ノ子。金泥絵素紙表紙。見返し金銀一面牡丹唐草文様空押シ。印記「温故堂文庫」（塙家）。

61 曾我物語 存巻第一 〔江戸前期〕写 大一冊 29 | 93

\* 識語「寛文拾壹年／辛亥九月吉日」。朱書アリ。印記「残花書屋」「賓／南」「賓／南」（戸川浜雄）。

⑤室町物語

62 いくつかしまのほん地（外題） 存巻下 〔江戸前期〕写 横一冊 29 | 102

\* 濃彩絵入。紺地金泥下絵表紙。間合紙。統一書名「巖島縁起」。

63 〔蛤の草子〕 二巻 〔江戸中期〕写 横二冊 29 | 84

\* 濃彩絵入。紺地金泥表紙。間合紙。外題「はまくり」。

64 諏訪明神縁起（外題） 〔江戸前期〕写 大一冊 29 | 115

\* 鳥ノ子紙。奥書「正保三年林鐘書之」。印記「月明荘」（反町茂雄）。国文研整理書名「すわの本地」。

65 諏訪大明神本地 〔江戸後期〕写 大仮一冊 29 | 113

\* 共紙表紙。表紙ニ「天保四年六月吉日月蔭沢」ト墨書アリ。「弘法大師御伝起」ヲ付ス。国文研整理書名「すわの本地」。

66 諏訪大明神御本地 〔江戸後期〕写 大仮一冊 29 | 114

\* 表紙欠。国文研整理書名「すわの本地」。

67 〔親鸞／聖人〕せんくはうじ如来告物がたり 三巻 安永六年刊（京、近江屋庄右衛門） 大合一冊 29 | 148

\* 絵入。巻上ハ第二丁以下欠。巻中ハ第三丁マデ欠。刊記ノ後ニ善光寺関連ノ書目四点ヲ掲出。

68 富士人穴縁起 安政三年写（坪井良輔清英） 大仮一冊 29 | 111

\* 共紙表紙。国文研整理書名「富士の人穴草子」。



- 69 一本菊(外題) (江戸初期)写  
 \*印記「宝玲文庫」(フランク・ホーレー)、「月明荘」(反町茂雄)。帙題ニ「異本／一本菊 寛永頃古写本」(森銑三)筆)トアリ。
- 70 子易の本地(外題) 二卷 (江戸前期)写(朝倉重賢)  
 \*濃彩絵入。萌葱色地ニ龍丸紋金欄緞子表紙。鳥ノ子紙。(朝倉重賢)筆(箱書、詞書)。印記「月明荘」(反町茂雄)。
- 71 三人ほうし 二卷 (江戸前期)刊・後印(江戸)、西村屋)  
 \*絵入。改装。印記「豊芥」(石塚豊芥子)、「山／谷」重箱、「重箱」、「骨董／古雜籍／珍書舖／咸亨堂」(咸亨堂)。別書名「三人懺悔冊子」。
- 72 松たけものかたり(外題) 三卷 (寛文・延宝頃)写  
 \*濃彩絵入。列帖装。鳥ノ子。木箱入。印記「月明荘。細目」「相生の松」(上卷)、「鶴亀物語」(中卷)、「松竹物語」(下卷)。別書名「相生の松」「笠間長者鶴亀物語」。
- 73 すみた川 存卷下 (江戸中期)写  
 \*濃彩絵入。改装雲母摺模様表紙。間合紙。
- 74 たかやなぎ (寛文・延宝頃)写  
 \*印記「月明荘」(反町茂雄)。もと奈良絵本(挿絵全二五面抜取、挿絵ノ紙面ニ「高柳」ト墨書アリ)。帙題簽ニ「たかやなぎの草子／元禄頃写／孤本／五冊」(森銑三)筆)トアリ。
- ⑥近世小説  
 (a) 仮名草子
- 75 仮名列女伝 八卷 北村季吟著 明暦元年奥刊・後印  
 \*絵入。
- 76 常磐木(柱刻題) (江戸前期)刊  
 \*絵入。藤井懶斎著

- (b) 浮世草子
- 77 那智御山手管滝 (目録題) 存卷一・四 江島其磧、八文字自笑著 享保一八年序刊  
\* 絵入。卷四ノ後表紙見返シニ「江流亭ノ燕柳」等墨書アリ。
- (c) 読本
- 78 兵庫築嶋伝記 (見返し題) 五卷 釈円信著 [江戸後期] 写  
\* 統一書名「兵庫築島伝」。識語「本主ノ田中庄右衛門」。後補書キ題簽「(兵ノ庫) つきしま物語」。天明元年跋刊本ノ  
刊写本ナリ (卷一卷首・卷五卷尾欠)。
- 79 はまちくどき (外題) 曲亭馬琴著 [江戸後期] 写  
\* 国文研整理書名「南総里見八犬伝」。同書ノ第二三回後半「浜路窃に親族を悼む」ト第二五回前半「情を含て浜路憂苦  
を訟う」部分ノ抜書 (本文ノミ)。
- 80 菖蒲草檐五月雨 三卷 昇亭岐山著、歌川国芳画 文化二二年刊 (江戸、丸屋文右衛門・加賀屋源助)  
\* 絵入。朱書アリ。印記「谷千生所蔵」(谷千生)。
- (d) 滑稽本
- 81 浮世くらべ 風落着山人左角斎作 安永三年刊 (江戸、迷歩屋茶良蔵)  
\* 絵入。序。
- (e) 洒落本
- 82 澁都洒美選 (序題) 志水燕十作 天明三年序刊 (江戸、葛屋重三郎)  
\* 絵入。自序。四方山人序。朱楽菅江序。朋誠堂喜三二序。耕書堂主人跋。
- 83 染抜五所紋 梅暮里谷峨作、武川永鯉画 (寛政二年) 刊 (刊記欠)  
\* 絵入。『青楼五雁金』ノ後編。自序。無名跋。
- 84 起承転合 十返舎一九作・画 享和二年序刊  
\* 絵入。自序。鈍々亭和樽跋。印記「松井蔵書」。

85 起承転合後篇遊冶郎 十返舎一九作、十字亭画 享和二年序刊

86 長唄馬歌集 \* 絵入。自序。遊冶郎跋。印記「松井藏書」。西村定雅作 文政七年刊(京、吉野屋仁兵衛等四肆)

87 毬唄三人娘 (f) 人情本 \* 絵入。もしほ屋主人序。自序。初〜五編 松亭金水作、山々亭有人補綴校(四、五編)、鶯齋画(初・二編)、一惠齋芳幾画(三編)、玉核芳年画図(四編)、春亭筆(五編)〔文久二年—慶応元年〕刊(無刊記)

88 一对男時花歌川 (g) 合卷 \* 絵入(各冊口絵数葉色摺り)。堂主人序。一二卷(前編・後編) 式亭三馬作、歌川豊国・豊広画 文化七年刊・後印(名古屋、永楽屋東四郎)

89 大晦日曙草紙 \* 絵入。扉題角書「井屋茨城／全盛合奏」。各卷末二「東壁堂藏版略目録」ヲ付ス。存第一一編 山東京山作、歌川豊国画 弘化四年(江戸)、紅英堂

90 春曙抄 (2) 随筆 \* 絵入。改装。一二卷 北村季吟注 延宝二年跋刊

91 つれつれ草 (外題) 二卷 兼好著 延宝七年写 \* 卷一入レ本。外題「枕草子春曙抄」(原題簽)。

\* 幽齋本系統。外題ハ飛鳥井雅章筆。色替料紙。列帖装。箱入。文禄五年細川幽齋、慶長二年細川幸隆ノ元奥書アリ(下卷)。上下卷末ニ「正本は吉田家につたへ来れり」等、延宝七年雅章ノ識語アリ。朱ノ合点・句読点・濁点アリ。中院通勝ノ説ヲ細注。齋藤彰『徒然草の研究』(風間書房、一九九八年)ニテ紹介ノ飛鳥井雅章筆本。印記「月明荘」(反町茂雄)、「残花書屋」「賓南／過眼」(戸川浜雄)。下卷裏見返シニ「昭和廿三年九月十三日(印)」ト墨書アリ

〔賓南／過眼〕印。上卷末ニ「兼好法師影自讚」アリ。

91 つれつれ草 (外題) 二卷 兼好著 延宝七年写 \* 卷一入レ本。外題「枕草子春曙抄」(原題簽)。

〔賓南／過眼〕印。上卷末ニ「兼好法師影自讚」アリ。

92 徒然草文段抄 七卷 北村季吟注 寛文七年刊・後印(書肆名削去) 大七冊 29 | 107

\*卷一入レ本。印記「野崎／藏書」。

(3) 日記・紀行

93 土佐日記〔解〕 二卷 紀貫之原著、加藤宇万伎注〔江戸後期〕写 大二冊 29 | 103

\*外題「土佐日記」。明和五年加藤宇万伎奥。朱書・頭注・付箋アリ。印記「鶯亭金升」(鶯亭金升)。

94 蜻蛉日記 三卷 藤原道綱母著 〔江戸前期〕写 特大合一冊 29 | 77

\*改装。三卷ヲ五冊二分カツ(末尾ヲ欠ク)。奥書「円常院寿康信女御写本也」(卷一末)。本文八元禄一〇年刊本二先行

スルカ(小林「解題」所引岡田貴憲論文参照)。

(4) 消息

95 消息文例 二卷 藤井高尚著 文化二年刊(大坂、奈良屋長兵衛等三肆) 大二冊 29 | 160

\*鳥越常成跋。松乃屋藏板。

2 漢文

(1) 狂詩

96 春遊興 大我作 明和四年序跋刊(江戸、藤木久市) 中一冊 29 | 72

3 和歌

(1) 歌論・作法

97 歌袋 存卷二・三 富士谷御杖撰 〔寛政五年〕刊 半二冊 29 | 61

\*刊年ハ他本ニヨル。

98 石上私淑言 二卷 本居宣長著 文化一三年刊(江戸、万笈堂英平吉) 大二冊 29 | 49

\*印記「師古／堂」「上総荊谷／鈴木藏書」「竹乃屋／藏書印」。英平吉ノ藏版目錄ヲ付ス。

99 紀路歌枕抄

三卷

〔江戸中期〕写

大三冊 29 | 46

\* 広本系。跋文ニ、丹羽秀才所持ノ伝本ヲ増補改訂スル旨ヲ記シタ後「丙午之秋 貪睡子ノ把筆于東武之官舎」トアリ。  
扉題「類聚叢書ノ随筆部ノ年山打聴」(中下卷)。

(2) 撰集

① 勅撰集

100 古今和歌集注

二〇卷

紀貫之等奉勅原撰、伝冷泉為相注 〔江戸前期〕写

榑一〇帖 29 | 53

\* 統一書名「古今集注冷泉家伝」。列帖装。水萌葱色地金銀泥下絵表紙。所謂「為相注」ナリ。奥書「以三代撰者秘注所相伝大江広貞也ノ永仁五年三月十五日ノ左近衛中将藤原朝臣為相ノ在判」。印記「妙観室ノ縁山南溪門外不出ノ宝松院」

〔妙観室ノ宝松院〕。

101 古今和歌集遠鏡補正

二卷

紀貫之等奉勅原撰、本居宣長注、中村知至補 〔江戸後期〕刊(京、吉野屋甚助)

大二冊 29 | 55

\* 書袋アリ。

102 後撰和歌集書注

大中臣能宣等奉勅原撰 〔江戸前期〕写

小一帖 29 | 29

\* 列帖装。布表紙。和歌注釈、「近代説と相違事」「後撰集作者并詞注不審」ヨリ成ル。奥書「此書者中院入道大納言為家所令撰作也ノ三代集口伝不可有他見而已」「此本周極秘藏之本也夢々懇望申書移了ノ可秘々々ノ大永二年三月廿八日 盛元 判在」

〔右二冊近江国人所持之内伝聞之ノ即召上畢ノ于時天正式年十二月廿九日ノ權大納言〕。帙題ニ「後撰和歌集為家注ノ寛文頃古写本」(森銑三)筆)トアリ。

103 後拾遺和歌抄

存卷一四

藤原通俊奉勅撰 〔鎌倉後期〕写

一軸 29 | 2

\* 「為家卿 ちきりきな(印)」「牛庵」瓢箪形の朱印)。冊子本ヲ改装。金襴緞子表紙。見返シ、金銀切箔散。

104 後拾遺和歌抄

存卷一九

藤原通俊奉勅撰 〔鎌倉前期〕写

一軸 29 | 5

\* 箱蓋裏、二枚ノ極札添付「後拾遺集卷一九 寂蓮法師(印)」「牛庵」瓢箪形朱印)。「寂蓮法師 後拾遺集第十九卷(印)」「守村」ノ方形墨印)。他ニ表ニ「寂蓮法師 後拾遺和歌抄第十九雜上下ノはる、とこのみねの心(印)」

(琴山印)、裏ニ「巻物 十六枚継一卷ノ先代即覚庵什 箱小口書同筆也 辛酉五(印)」トノ極札(古筆了信印)。

他、大正九年大口鯛二ノ添状アリ。箱書ニ「寂蓮法師ノ牛庵外題ノ了仲外題ノ一卷」「寂蓮法師ノ後拾遺集ノ雜部一卷ノ牛・仲札アリ」トアリ。他付属物アリ。伝寂蓮筆青木切（卷十五ノ断簡）ノ僚卷カ。

105 後拾遺和歌抄 存卷一 藤原通俊奉勅撰 [室町後期] 写 一軸 29 | 3

106 後拾遺和歌抄 二〇卷 藤原通俊奉勅撰 [室町後期] 写 大一帖 29 | 20  
\* 紐付箋ニ「八番ノ後拾遺集序并春哥上ノ〔常德院義〕尚公芳痕ノ外題有ノ全尾」ト墨書。冊子改装本。金欄緞子表紙。

107 後拾遺和歌抄 二〇卷 藤原通俊奉勅撰 [江戸前期] 写 半二帖 29 | 28  
\* 列帖装。金欄緞子表紙。鳥ノ子。箱入。伝下冷泉持為筆（古筆了栄ノ極札ニ抛ル）。長垣伊左衛門・渡邊弥右衛門宛テ古筆了以書状一通ナラビニ玄の宛テ野後七左衛門ノ「後拾遺添状」ヲ付ス。

108 後拾遺和歌集 存卷第一ノ一〇 藤原通俊奉勅撰 [室町中期] 写 大一帖 29 | 15  
\* 列帖装。金欄緞子表紙。鳥ノ子。家本系統ノ本奥書ニ続キ、建長二年ノ識語ヲ有ス。

109 〔後拾遺集・金葉集・詞花集・千載集抄出〕 藤原通俊奉勅撰等 [元禄頃] 写 特大一冊 29 | 27  
\* 外題〔後拾遺和歌集抄〕ハ打付ケ書キ。内題〔後拾遺集抄出〕「金葉抄出」「詞花集抄出」「千載集抄出」。印記「渡邊千秋藏書」（渡辺千秋）、「紅梅ノ文庫」（前田善子）。弘文荘ノ販売短冊札アリ。

110 千載和歌集 二〇卷 藤原俊成奉勅撰 [室町後期] 写 大二帖 29 | 19  
\* 列帖装。緞子表紙。鳥ノ子。二重箱入。伝嵯川新右衛門親当筆、題簽ハ伝後奈良院筆（古筆了音ノ極札ニ抛ル）。

111 千載和歌集 存卷第八ノ二〇 藤原俊成奉勅撰 [江戸中期] 刊（京、出雲寺和泉掾） 半一冊 29 | 63  
\* 絵入。

112 玉葉和歌集 二〇卷 京極為兼奉勅撰 [室町後期] 写 大二帖 29 | 21  
\* 列帖装。緞子表紙。鳥ノ子。木箱入。木箱表ニ「上巻西遠寺ノ下巻細川持之」ト墨書。正中二年ノ奥書アリ。印記「月明荘」。濱口博章「正中二年奥書玉葉和歌集攷」（『甲南大学文学会論集』一〇号、一九五九年一月）論文抜刷ヲ付ス。濱口論文ニ抛レバ「大山寺本ニ近イ系統」ノ由。

113 新葉和歌集 二〇卷 宗良親王撰 天保八年写(坂口宣弘) 半合一冊 29 | 65

\*奥書「天保八年于東都之客舎ニ書写之」。「承応第二秋八月吉辰 一樂軒永治」。坂口宣弘ノ識語アリ。卷尾ニ「左小弁資茂」発給「二条少将」宛文書ヲ添エル。

②私撰集

114 続詞花和歌集 存卷第一〜二〇 藤原清輔撰 [江戸前期]写 大二冊 29 | 41

\*印記「尚舎源忠房」(藍文)「文/庫」(松平忠房)、「梅華艸堂珍書/雲烟過眼之記」。天理図書館蔵本ト同体裁ノ真名跋文・奥書ヲ有ス。

115 [現存和歌六帖] 藤原光俊撰 [鎌倉中期]写 一軸 29 | 4

\*国文研整理書名「和歌」。巻頭ニ「後京極良経公 いつもみる 十八枚継一卷(印)」「極札貼付アリ」(守村)「方形墨印」。箱表ニ「後京極良経公芳毫」ノ墨書アリ。冊子改装(モト列帖装)。新編国歌大観ノ二八五〜二九一、三〇八〜三二〇、四〇二〜四二一、四二六〜四五三、四七一〜四八一番歌存(但シ錯簡アリ)。作者名無注記本。天理図書館蔵呉文炳旧蔵本ト改行改丁ガ一致シ字姿モ似ル。

116 古今名公批点和歌 [江戸中期]写 大四冊 29 | 48

\*「御室撰哥合」「建保勅点五十首」(後鳥羽院御点)、「中院前内府藤河百首」(仙阿)等、計三〇種ノ作品ヲ収ム。印記「西荘文庫」(小津桂窓)。帙題ニ「古今名公批点和歌 西荘文庫旧蔵/上写本 四冊」(森銑三)筆)トアリ。

117 百人一首拾穂抄 四卷 藤原定家撰、北村季吟注 [天和元年跋]刊・寛政六年印(京、須原屋茂兵衛・勝村治右衛門) 大四冊 29 | 60

\*天和元年北村季吟跋。

118 百人一首新抄 藤原定家撰、石原正明注 享和四年跋刊(尾張、永楽屋東四郎・江戸、同出店) 半一冊 29 | 62

119 義烈百人一首 緑亭川柳輯、葛飾北斎等画 嘉永三年刊(東京、錦耕堂山口屋藤兵衛) 中一冊 29 | 204

○

## 120 本末詞解

岩政信比古著

嘉永三年序刊（大坂、柏原屋清右衛門等三肆）

大一冊 29 | 68

\*書袋ヲ表紙ニ貼付。桜戸藏版。

## (3) 家集

## 121〔大江千里集・寂然集〕

大江千里・寂然詠

〔江戸前期〕写

中合一帖 29 | 36

\*列帖装。虫損。打紙ニ胡粉ヲ引ク。外題「大江千里并寂然集」。「大江千里集」ト「寂然集」ヲ合写ス。「大江千里集」ハ奥書ナシ。「寂然集」ハ群書類從第十五輯和歌部所収本ト異同アリ。帙題ニ「大江千里并寂然集 寛文元禄頃」上写」（森銚三）筆）トアリ。印記「富／平」。帙ニ「弘文荘」（反町茂雄）印。別書名「句題和歌」。

## 122 貫之集

紀貫之詠

元禄一三年刊・後印（京、須原屋平左衛門）

半二冊 29 | 50

\*絵入。印記「高知／開成舎／本店」（開成舎。高知ノ書肆）。

## 123 清慎公家集

藤原実頼詠

〔江戸中期〕写

大一冊 29 | 30

\*奥書「清慎集予雖秘藏之本任御所望令書写／校合進賢候者也尤他見書写被免間敷／也穴賢云云／永享二年孟夏下旬尋阿在判」「右清慎集多本世皆有書写之誤等依之／難一決併此本吟味校合所々顧宣用之亦／於正本求者重而可遂校合者也漏々繁／多而已／文明五年三月日 藤 在判」。印記「梅乃舎／集留文／等廻記」（伊東祐膺）、「米斎／中之／右 図／左史」（久保田米斎）。末尾ニ「題しらす 此歌此集にみえず」ノ一覽ヲ付ス。

## 124 藤原義孝集（外題）

藤原義孝詠

〔江戸後期〕写

大一冊 29 | 40

\*表紙右上ニ「為相卿真蹟写」紙片添付。九州大学細川文庫藏本ト同系統力。奥書「右冷泉為相卿真蹟模写／屋代弘賢」。印記「月明荘」「弘文荘」（反町茂雄）。帙題ニ「冷泉為相真蹟／藤原義孝集 屋代弘賢手写」（森銚三）筆）トアリ。別書名「義孝集」。

## 125〔西宮左大臣集〕

源高明詠

〔江戸前期〕写

榘一帖 29 | 70

\*列帖装。共紙表紙薄様デ包ム。上代様写本。書陵部藏本（五〇一・六七）ト同体裁。奥書「本云治承三年七月二日書 写了校了／建長五年四月十三日以真觀本書写／校合了」「弘長二年八月二日以真觀房本書写之了」「正応四年三月十八日書写了／同十九日校合了」。



126 玄々集 能因詠 (江戸中期) 写 大一冊 29 | 51

127 橋為仲朝臣集 橋為仲詠 (江戸中期) 写 (入江昌喜) 大一冊 29 | 31

\* 改装表紙(原表紙アリ)、イズレモ入江昌喜好ミノ墨流シ。第三系統甲乙合本系。書陵部本(一五〇・五六八)ノ九〇  
ノ九三、九六ノ一〇四番歌ナシ。甲本系本文末尾ニ書陵部藏本ト同体裁ノ伝西行筆奥書アリ。乙本系本文末尾ニ尊經  
閣文庫藏本ト同体裁ノ治承四年奥書ニ続キ「建長五年三月九日以大宮三位知家入道本書写校合ノ日孝」弘長二年初  
冬此書写了已上一校了」トアリ。朱書アリ。印記「幽遠ノ窟」「藏」(入江昌喜)。後補題簽ニ「入江昌喜大人自筆」  
ト墨書。

128 四条中納言(扉題) 藤原定頼詠 (江戸前期) 写 榊一冊 29 | 33

\* 統一書名「定頼集」。一類本。前田家旧藏本二六ノ三〇、一一二ノ一一五番歌ナシ。第六丁部分欠カ。前田家旧藏藤原  
定家自筆本系統ト同体裁ノ奥書アリ(但シ「京極黃門定家卿真筆無疑：寛永元三月十一日 為頼」ヲ欠ク)。印記「渡  
辺ノ千秋ノ清観」「渡辺ノ千秋ノ藏書」(渡辺千秋)、「紅梅ノ文庫」(前田善子)。弘文荘ノ販売短冊札アリ。

129 散木奇歌集 存第一ノ八 源俊頼詠 (江戸前期) 写 大二冊 29 | 47

\* 印記「吏部大卿忠次」「文ノ庫」(榊原忠次)、「月明荘」(反町茂雄)、「紅梅ノ文庫」(前田善子)、下卷末ニ「田上集」ノ  
抜写五丁分アリ。原稿用紙二万年筆写ノ付属資料ヲ付ス。

130 源三位頼政家集 二卷 源頼政詠 (天和三年) 刊・(江戸後期) 印(京、丹後屋徳治郎・勝村伊兵衛) 小二冊 29 | 52

131 六条修理大夫集 \* 絵入。見返シニ「双書堂梓」トアリ。藤原顕季詠 (江戸後期) 写 大仮一冊 29 | 39

\* 統一書名「顕季集」。流布本系第一種本。『新編私家集大成』所収神宮文庫藏本ト同体裁ノ奥書ヲ有ス。表紙ニ「紫園  
藏」ノ墨書アリ。

132 寂蓮家集 寂蓮詠 寛文元年写 榊一帖 29 | 34

\* 統一書名「寂蓮法師集」。列帖装。鳥ノ子。部類本。奥書「右一冊以飛鳥井榮雅文亀年ノ中書写之本云々而写書置也

／寛文元年暮秋下旬日写之」。印記「渡辺／千秋／清観」「渡辺／千秋／藏書」（渡辺千秋）、「紅梅／文庫」（前田善子）。弘文荘ノ販売短冊札アリ。裏表紙見返し添付紙片ニ「寂蓮家集／山口円休正筆／号春雨軒草也ト」ト墨書。

133 〔寂蓮家集・細川高国自歌合〕 寂蓮・細川高国詠 文化一〇年写 半一冊 29 | 35

\*統一書名「寂蓮法師集」「細川左京大夫自歌合」「寂蓮家集」ハ雑纂本ノ内、寛文七年版本ニ同ジ。文化八年高木元如、文化一〇年川端美貫ノ奥書アリ。「細川高国自歌合」ハ群書類従第十三輯和歌部所収本ト同系統。但シ、別二文化九年源美貫ノ書写奥書アリ。印記「五十嵐甚藏／函書之記」（五十嵐甚藏）。「時習堂」紙片添付アリ。

134 右京大夫（外題） 建礼門院右京大夫詠 〔寛永元年〕写 大一冊 29 | 38

\*統一書名「建礼門院右京大夫集」。極札「大黒長老常信ノ家の集など 一冊／右京大夫集（印）」（朝倉茂入印）。本文末尾ニ「奥書曰／建礼門院右京大夫家集／以左衛門尉半氏落本永ノ享十二年三月日書之／藤原利永」「右以本寛永元年九月ノ日書之間校合之」。印記「篁園文庫」（竹内篁園）、「紅梅／文庫」（前田善子）、「月明荘」（反町茂雄）。帙題ニ「建礼門院右京大夫集 伝大黒常信筆／寛永頃写」（森銚三）筆）トアリ。

135 建礼門院右京大夫集 建礼門院右京大夫詠 〔江戸後期〕刊・昭和九年印（東京、温故学舎） 大一冊 29 | 66

\*群書類従二八〇上下・和歌部一三五。

136 〔順徳院御百首・俊成卿述懷百首・定家卿枕屏風歌〕 順徳院詠、藤原俊成詠、藤原定家詠 〔室町後期〕写 大一冊 29 | 37

\*打曇表紙。包背装。未綴。虫損。帙題ニ「順徳院百首／天文十三年古写本／附 俊成卿述懷百首 定家卿枕屏風歌」（森銚三）筆）トアリ。奥書「此一冊以我本令書写一校畢／天文十三年七月中旬ノ忠直」。

137 詠百首和歌 頓阿詠 〔江戸前期〕写 大一冊 29 | 32

\*包背装、補修アリ。幅広ノ大本。奥書「右一卷借紹活所持本於筑前国姪浜ノ檀林寺不違一字書写遂一校畢／天正十五曆六月二日」。帙題「頓阿百首／寛文頃古写本」（森銚三）筆）トアリ。頓阿百首B。

138 柏玉集（外題） 後柏原院詠 〔江戸前期〕写 特大二冊 29 | 44

\*別書名「柏玉和歌集」。印記「銅駄／藏書」（二条家）。

139 藤原宗房歌集（帙題） 伊達宗房詠、伊達宗辰等編 〔江戸前期〕写 大一冊 29 | 45

- 140 賀茂翁家集 \*伊達吉村(伊達宗房ノ長男)序。帙題ニ「伊達宗房家集ノ伊達吉村編 浄写稿本ノ伊達家旧蔵」(森銑三筆)トアリ。 五卷 賀茂真淵著 文化三年刊(江戸、大和田安兵衛等三肆) 大五冊 29 | 57
- 141 鈴屋集 \*須受能耶蔵版。 九卷 本居宣長著 享和三年跋刊(伊勢、柏屋兵助等三肆) 大九冊 29 | 58
- 142 雲錦翁家集 \*楓樹園蔵版。 四卷 賀茂季鷹著 天保二年序刊(大坂、秋田屋太右衛門等六肆) 大四冊 29 | 59
- 143 松言葉 木間保之著 天保三年刊(大坂、製錦舎) 大二冊 29 | 56
- 144 行余集 \*見返シ題「松言葉月明集」。見返シニ「社中等蔵梓ノ浪速 製錦舎」トアリ。魁星印アリ。 高山彦九郎等詠、物集高世編 慶応三年序刊(無刊記) 中一冊 29 | 69
- 145 檀か本詠草 \*支峰頼復序。葎屋蔵版。 三卷 伴林光平著 (江戸後期)写(自筆) 半三冊 29 | 42
- (4) 歌合
- 146 (治承ノ二年)賀茂社歌合(外題) 賀茂重保主催、藤原俊成判 (江戸前期)写 \*統一書名「別雷社歌合」。朱書書入、識語アリ。印記「鳥居大路之印」。 大一冊 29 | 54
- 4 俳諧
- (1) 俳論・作法
- 147 増山井四季之詞 北村季吟著 寛文三年跋刊・後印(江戸、戸倉屋喜兵衛) 半一冊 29 | 64
- 148 蕉門秘書庵之間書 文化四年写(万亀亭故白) 半一冊 29 | 67

(2) 撰集  
\* 奥書「文化四卯霜之上句写之／転写万亀亭／故白書」、識語「持主随意斎／蘆夕什」。

149 蟹窟 建部巢兆等編、雛屋立圍画 文化二年序跋刊 大一冊 29 | 43

\* 口絵入。立圍序（万治二年）。巢兆序（文化二年）。柳莊跋（文化二年）。帙題簽ニ「蟹窟／信濃岩下文兆追善句集」トアリ。帙ニ識語アリ。白田氏ノ識語紙片添付。

5 古代歌謡

(1) 神樂歌・催馬楽

150 伊勢大神宮／神遊歌集（帙題）〔江戸前期〕写 半一帖 29 | 177

\* 折紙列帖装、全四括り。本文共紙表紙、後補覆表紙。扉（本文共紙表紙）ニ複数ノ花押ヲ打付ケ書キ。後欠。補修アリ。帙題「伊勢大神宮／神遊歌集」「寛文延宝頃／上写」（森銃三）記。印記「をばま」（小汀利得）。国文研整理書名「神樂歌」。

151 内侍所御神樂歌 明和八年写（宮内守中翁） 大一冊 29 | 169

\* 栗皮表紙改装。奥書、「右歌物博士調子拍子等以／後奈良院宸筆本而敷写者也／寛文九年巳酉自省軒写之」、「宝永八年辛卯正月八日得跡部良顕君之本 友部安崇写」、「元文二十一年辰春正月人日写之近藤員郡」、「明和八年辛卯極月初日 謹写之宮内守中翁」。

152 催馬楽譜入文 三卷 橘守部著 天保一二年跋刊 半三冊 29 | 206

(2) 宴曲

153 撰要両曲卷 明空、比企助員編 応永二〇年写 大一帖 29 | 18

\* 列帖装。箱入。奥書「右説撰説遺之両曲都合四十八首／所録如件／於当流可為正本／沙弥美阿（花押）／応永二十年十二月十三日」。朱書アリ（栄定力）。印記「月明莊」（反町茂雄）。箱側面ニ「三十四帖（平瀬藏器）印」ノ貼紙アリ。

6 近世歌謡

154 松の葉 五巻

元禄一六六年刊（京、井筒屋庄兵衛・万木治兵衛）

29 | 181

155 吉原はやり小哥そうまくり

〔江戸前期〕刊・〔江戸後期〕印（江戸、中嶋屋伊左衛門）

29 | 180

\* 改装。後補書キ題簽「吉原／はやり哥／そうまくり」。表紙ニ「万治二年 初版」ト朱書。

156 はやりうた（外題）

〔江戸後期〕写

29 | 182

\* 印記「島田／藏書」。表紙ニ「島田藏書」ト墨書。国文研整理書名「はやり歌」。

157 大怒佐

存卷二・二

〔江戸前期〕刊

29 | 71

\* 絵入。



158 古はうた（外題）

〔江戸前期〕写

29 | 173

\* 折紙列帖装。色替り料紙。帙題「古端唄集」「元禄頃古写／五色紙雅本」（森銑三筆）。印記「月明荘」（反町茂雄）。

159 新板江戸の花向寫八景はうた大津ゑぶし 二巻

〔江戸後期〕刊（江戸、吉田屋小吉）

29 | 222

\* 改装。原刷絵表紙。

160 はうた大よせ（外題）

梅春里谷峨著、岡田国輝画 〔江戸後期〕刊

29 | 230

\* 絵入。色刷絵表紙。

161 花哇一夕話

存呂の巻・津の巻 梅暮里谷峨著、歌川国貞画 〔江戸後期〕刊

29 | 231

\* 絵入。刷絵表紙ニ「初編」トアリ。

162 〔俗謡二種合綴〕

〔江戸後期〕刊

29 | 228

\* 改装。原刷絵表紙。細目「しんぱん春さめ文句はうた尽し」「忠臣蔵はうた」。

163 端謡つくし（外題）

安政六年写

29 | 190

\* 途中ニ「明治九年七月狂言 うた尾上菊五郎／新富座ニ而左之用謡 三味せん中村芝翫」。国文研整理書名「端唄集」。

164 はうた大よせ本（外題）

文久元年写

29 | 191

\* 包背装。識語「塩家あい子」「此ぬし愛子」。国文研整理書名「端唄集」。

165 端歌部類 初編(外題) 〔江戸後期〕刊(江戸、松延堂伊勢屋庄之助) 横一冊 29 | 224

\* 「端唄稽古本」「端唄部類」「はうた京しらべ」ノ広告アリ。

166 〈伊勢音頭〉二見真砂(帙題) 〔江戸中期〕刊 横一冊 29 | 209

\* 一〇八番。一枚モノノ集成。帙題〔森銚三〕筆。

167 〈伊勢音頭〉二見真砂(帙題) 〔江戸中期〕刊 横一冊 29 | 210

\* 一二七番。一枚モノノ集成。帙題〔森銚三〕筆。

168 〈伊勢川崎音頭〉二見真砂(帙題) 〔江戸中期〕刊 横一冊 29 | 211

\* 一二三番。一枚モノノ集成。印記「月明荘」(反町茂雄)。帙題〔森銚三〕筆。

169 伊勢音頭(帙外題) 〔江戸後期〕刊 横一冊 29 | 213

\* 一枚モノノ集成。

170 川崎音頭集(外題) 〔江戸後期〕写 横一冊 29 | 205

171 〔新音頭九種合綴〕 〔江戸後期〕刊(伊勢山田、木村藤兵衛) 横一冊 29 | 212

\* 包背装。口絵入。細目「琴柱雁」「玉囀」「根延竹」「其文月」「逢夜星」「調子競」「扇子香」「紅葉傘」「伊勢囀」九種

ヲ合冊スル。

172 諸国盆踊の唱歌(外題) 文政八年写 大一冊 29 | 179

\* 帙題「洒竹文庫本／諸国盆踊の唱歌」「柳亭種彦本写／笠亭仙果自筆校合本」(〔森銚三〕筆)。文政八年、柳亭種彦ノ

識語アリ。識語ニ「此さうしは寛文の頃後水院諸国に勅して盆踊の唱歌を集給ひしものなりて」トアリ。天保三年、

仙果校合トノ奥書アリ。表紙ニ「此ぬし浮世本かき／仙果」ト墨書アリ。統一書名「山家鳥虫歌」。印記「洒竹文庫」

(大野洒竹)、「高橋蔵書」「このぬし／せんくわ」(笠亭仙果)、「月明荘」(反町茂雄)。

173 小踊り本(扉題) 安政六年写(新条藤九郎) 大一冊 29 | 170

- 174 題目踊音頭本写（扉題）  
 \*後補覆表紙。後補書キ題簽「近江国小踊り唄」。奥書「安政六未八月吉日／右高村新条氏／藤九郎所持」。国文研整理書名「近江国小踊唄」。  
 嘉永六年写（吉田源十郎重房）  
 大一冊 29 | 192
- 175 子踊音頭本（外題）  
 \*識語「岡本氏」。  
 明治二〇年写  
 大坂一冊 29 | 197
- 176 御所音頭 秋の一声（扉題）  
 \*改装。全一四曲。国文研整理書名「紅葉節踊音頭」。  
 （明治）写  
 大一冊 29 | 188
- 177 紅葉節踊音頭（外題）  
 \*封面ニ「下鴨／西垣利三郎所有」ト識語アリ。全一五曲。白田甚五郎宛西澤爽書簡付属。  
 （明治）写  
 大一冊 29 | 189
- 178 〔絵入俗謡六種合綴〕  
 \*絵入。包背装。細目「都々逸大一坐」「しん板二上りしん内」「ことば入意気などゞーしん板」「新もんく葉唄くらべ」  
 「重裱色染分」「新撰都といつ図会 全」。  
 （江戸後期）刊  
 中合一冊 29 | 233
- 179 〔庄内／鶴岡〕御町々盆踊文句（帙題）  
 \*帙題簽ニ「庄内鶴岡／御町々盆踊文句」「天保嘉永中刊／人形屋治助板」「七種」ト墨書（森銃三三筆）。  
 （幕末）刊（庄内、鶴岡、人形屋治助）  
 大一冊 29 | 178
- 180 〔俗謡三種合綴〕  
 \*細目「はやり／おんど」大工惣兵衛「ひょうごくどき／甚九ふし／助六あげ巻」「新／板」町つくし。  
 （江戸後期）刊（姫路、灰屋輔二）  
 半合一冊 29 | 198
- 181 〔ひょうごくどき俗謡合綴〕  
 \*細目「ひょうごくどき／甚九ふし／助六あげ巻」「ひょうごくどき／はやりおんど／長崎／ゑびや甚九」「ひょうごくどきはやりおんど／円正寺／おすぎ／赤間関坊主落」「ひょうごくどき／はやり／おんど／八しまの／てがら／那須の与市」。印記「巖松堂古典部波多野扱斯書」。  
 （江戸後期）刊（大坂、いとや兵衛）  
 半合一冊 29 | 199

182 新板ひざくりげ道中くどき 二巻

〔江戸後期〕刊（江戸、吉田屋小吉）

小一冊 29-223

\* 改装。原刷絵表紙。

183 歌祭文（外題）

〔江戸後期〕刊

小合一冊 29-220

\* 「大新ばんかわりもんく／大芝居役者見立／山づくしだんよぶし」等二十四編ヲ合冊スル。細目「大新ばんかわりもんく／大芝居役者見立／山づくしだんよぶし」「ばんとぶし」（上下）、「ばんとぶし」（上下）、「ばんとぶし」（上下）、「小ぐりてる手ひめ／小萩利責の段」（岡本美根大夫）、「とつちりとん節」「石童丸菫書札書ノ段」（上巻、岡本美咲太夫章）、「とつちりとん節」「大新板／絵本太功記／段つゞき／よしこのぶし」（上下）、「そふかゑぶし／さい文入／大はやりうた」（都や扇蝶章）（上下）、「しんばんうかれ／新どどいつよしこの」（上下）、「石童丸菫書札書ノ段」（下巻、岡本美咲太夫章）、「大しんばん／いろ里町中大はやり／売物づくし／戎ぶし」（上下）、「いろ里町中おおはやり／いよぶし」「いよぶし」「此所／ちよつとそえもの大津絵もんく」「大しんばん近江八景／二上り／亀村まんざい」「大新板／だんぼさんやぶし」「たがへやづくし／鳥屋づくし新もんく／世の中よしこのぶし」「桂川恋散柳」（標題脇ニ「太夫／鶴賀新内／鶴賀若狭掾」「二代目鶴賀鶴吉」「三弦／鶴賀升六・菊沢八十七」トアリ）、「小栗判官照手姫清水のだん」「江戸鶴賀しん内ぶし／ぬきもんく／玉だすき」「忠臣蔵／しやんこしやんこぶし」「忠臣蔵／しやんこしやんこぶし」。

184 金五郎歌さいもん（外題）

〔江戸中期〕刊

半合一冊 29-174

\* 帙外題「歌さいもん揃」（森銃三）筆。細目「かなや金五郎うたさいもん」（上）、「がくの小さな哥さいもん」（下）、「甚之丞小てう／心中哥さいもん」（上下）、「梅川忠兵衛／恋のおも荷さいもん」（上下）。下ノ題「めいととの飛脚さいもん」。

185 大津絵ぶし（外題）

〔江戸後期〕刊

中一冊 29-226

\* 序末ニ「戌年冬のなかば／妻恋閑人題」トアリ。

186 三芝居役者あふつゑ

〔江戸後期〕刊（江戸、滝弁）

中一冊 29-227



- 187 新ばん心いきおふつゑぶし  
\*後補覆表紙(多色刷)。  
〔江戸後期〕刊(江戸、滝弁)  
\*改装。
- 188 大津絵ぶし 三編 存三編  
〔江戸後期〕刊  
\*色刷絵表紙。柱「大つゑ」。墨書「材木町/名古屋/尾州/瀬戸屋善七/持主」。「かさづくし仇もんく」等。
- 189 しんばん大津画ぶしはやりもんく  
\*墨書「信州佐久郡/上中込村/森泉銀治」等他。  
〔江戸後期〕刊
- 190 〈大新はん〉大津ゑぶし 存二編  
〔江戸後期〕刊(大坂、錦屋徳太郎・錦屋喜兵衛)  
\*色刷絵表紙。見返シニ「心さいばし/綿喜」トアリ。柱題「大つゑ二編」。
- 191 〔大津絵ぶし〕 存初編  
笑福亭松鶴編、北粋亭芳豊画 安政刊(大坂、錦車堂)  
\*絵入。刷絵表紙。錦車堂ノ広告アリ。
- 192 おどりつくし(帙題)  
〔江戸中期〕刊  
\*絵入。改装。帙「明和安永頃刊/鈴木春信風画」(森銑三)記。
- 193 子もり歌  
知真庵著  
〔江戸中期〕刊  
\*見返シニ絵アリ。
- 194 三津の浜  
津山檢校輯  
宝曆一二年刊、(京、河南四良右衛門等四肆)  
\*時哉序。
- 195 越風石臼歌  
小田子文(陳煥章)解、河保定校 安永一〇年序刊
- 196 おたふ女郎粉引歌  
\*巻尾ニ「唐訓話江戸風」ヲ付ス。印記「青柳館文庫」「勿折角勿卷腦勿以墨汚勿令鼠齧勿唾幅掲」。  
\*絵入。外題「粉引歌」。巻尾ニ「阿鼻窟藏板」トアリ。  
天保四年跋刊

- 197 てまりうた  
〔江戸後期〕刊（江戸、和泉屋庄次郎）  
\* 絵入。古愚堂蔵板。印記「栄郭／斎蔵」（筒井喜一郎）。
- 198 陰字弁 飯田方言歌（外題）  
〔江戸後期〕写  
\* 包背装。細目「陰号解」（文末ニ文政六年瓢屋老人ノ奥書アリ）、「飯田方言歌」（瓢屋の翁ノ序アリ。歌二〇首）。
- 199 新ばんかり宅やつちよるぶし  
〔江戸後期〕刊（江戸、滝の屋）  
\* 改装。原刷絵表紙。
- 200 よしこの恋のしをり 二編  
〔江戸後期〕刊（名古屋、永楽屋東四郎等四肆）  
\* 竹林社蔵。裏表紙ニ「永楽季製」トアリ。
- 201 [よしこの節]  
〔江戸後期〕刊（大坂、河内屋平七）  
\* 色刷絵表紙。
- 202 其所縁源氏都々一  
〔江戸後期〕刊  
玉蘭貞秀画
- 203 歌曲時習考  
〔文化二年〕刊（京、今井喜兵衛等四肆）  
\* 卷末ニ玉栄堂蔵版女用書籍目録ヲ付ス。  
菊崎檢校校訂、浅野高造編、岡田玉山画
- 204 歌曲時習考  
〔大坂、前川善兵衛〕横一冊  
\* 新增補歌曲書目録「琴曲ねじめの糸」一冊等一三点ノ広告ヲ付ス。  
菊崎檢校校訂、浅野高造編、岡田玉山画 嘉永元刊・明治一六年印
- 205 かそへ唄（内題）  
文化八年写  
文化五年頃写（「森銃三」記）。文化五年「新板さいの河原」等ノ写シ。
- 206 〈新增〉松の二葉  
文化六年刊（大坂、河内屋喜兵衛等一〇肆）
- 207 信濃伊奈万歳唄三種（帙題）  
明治三〇年写  
\* 取合七本、第一冊「てるてひめ」（扉題）。第二冊「松かげ神記」（外題）。第三冊「翁神記」（外題）。縦長本。
- 208 越後長唄（外題）  
〔明治〕写  
大一新

\*表紙二「一之谷二羽之軍記／同 簾揃之段／四十七儀夜打段／稲川角力取組之段」トアリ。識語「石黒文庫所蔵」。

V 音楽・演劇

1 総記

209 竜笛仮名譜

\*絵入(彩色)。

明治一二年写(永寫守静)

中二冊 29 | 171

2 音楽

210 音曲類集

\*自序。

古文軒自省

延享三年写

横一冊 29 | 216

211 琴曲抄

\*絵入。

元禄七年刊・宝曆一三年印(京、西村市郎右衛門等三肆)

横二冊 29 | 24

212 箏曲大意抄(外題)

\*魁星印アリ。東壁堂ノ版元印アリ。

安永八年刊・文化八年印(名古屋、永楽屋東四郎等五肆)

大六冊 29 | 202

213 和琴譜

\*折本。

〔江戸後期〕写

榊一帖 29 | 203

214 吾妻箏譜

\*外題「吾孀箏宇多」。

山田檢校斗養一

文化六年刊・天保一〇年修(東京、須原屋茂兵衛)

中一冊 29 | 201

215 増訂撫箏雅譜集

\*口絵アリ。

三卷

山登檢校編

嘉永六年序刊

横一冊 29 | 217

216 歌曲(外題)

\*奥書「干時明治庚辰年晚秋芝直温氏秘蔵之原書ヲ以写之畢／神谷清冷」。印記「神谷家印」。「神楽拍子伝」「大神景光

明治一三年写(神谷清冷)

中一冊 29 | 219

笛譜」「神道神楽」「神楽和琴譜」等ヲ含ム。

3 古代劇

(1) 総記

217 上覧躍小歌

〔寛永頃〕写

一軸  
29 | 8

\*箱蓋表に「寛永比／公方家 上覧躍小歌之地巻物／四十一」。箱底に「故長男恒太郎氏の遺物として松園三次翁寄贈／干時  
昭和六年二月」ト墨書シタ紙片ヲ添付。外題「寛永比／公方家 上覧 躍小歌之地」ト打付書キ。

(2) 幸若舞曲

218 伏見常盤

慶長一〇年写

横一冊  
29 | 75

\*奥書「伍枝与五郎／慶長十年二月吉日」。印記「月明莊」(反町茂雄)。帙題ニ「伏見常盤 度長十年写／伍枝与五郎  
筆」(森銑三)筆)トアリ。

219 〔富樫〕

〔江戸前期〕写

二軸  
29 | 1

\*濃彩絵入(モト横型奈良絵本)。紺地金泥表紙。見返シ、金銀切箔散。

220 〔百合若大臣〕

〔江戸中期〕写

横一冊  
29 | 74

\*濃彩絵入。紺地金泥下絵表紙。間合紙。印記「閻魔庵／図書部」「岡本蔵書記」(岡本閻魔庵)。

4 能楽

(1) 狂言

221 間の扣(外題)

〔明治〕写

半一冊  
29 | 184

\*国文研整理書名「能間」。

5 浄瑠璃

222 あつた大明神の御本地 六段 (寛文五年) 刊 中一冊 29 | 152

\* 絵入。奥ニ「右このあつた大明神の御ほんじ ちくご代次とらの助以正本書うつし令開〔板〕者也」トアリ。奥

ニ「寛文中頃 菱川師宣画」ト識語アリ。印記「藤浪氏藏」(藤浪剛二)。「乾々齋書屋」ノ藏書票貼付。

223 浄るり道行づくし (外題) (江戸前期) 刊 半合一冊 29 | 187

\* 後補覆表紙。二卷 (蘭曲後撰集)「六四 大和廿四孝」ノ「八二 田うたとみおひ」一巻 (蘭曲色竹)「一六 浪華物

語後深草院梅見車」ノ「六〇 中書玉神おろし」ノ順ニ合綴。統一書名「蘭曲大竹集」。

224 〈文章巻物ノ神楽太鼓〉粟嶋譜嫁入雛形 五段 竹田出雲 (二世) 等作 (寛延二年) 刊・後印 (大坂、加島屋清助等六肆) 半一冊 29 | 101

\* 七行本。

225 大全吾妻の一節 (目録題) 文政二年刊 (京、吉野屋勘兵衛) 半合一冊 29 | 185

\* 封面題「大全東の一節」。全三三種ヲ合綴。「手ならひ」(京、吉野屋勘兵衛)。「四季の椀久」(京、吉野屋勘兵衛・柏

屋宗七板)。

226 浄瑠璃早合点 鳥井正之助 明治三四年刊 (大坂、竹中清音堂) 小一冊 29 | 234

\* 大瓶楽居序。細目「浄瑠璃早合点」「浄瑠璃秘曲抄」(序末ニ「竹本播磨掾撰ノ竹本大和掾校ノ竹本錦太夫ノ竹本政太

夫評」トアリ)。

227 十寸見要集 二卷 (江戸中期) 刊 (江戸、伊勢屋吉十郎) 半二冊 29 | 183

\* 印記「竹冷挿架」(角田竹冷)。

228 宮古路豊後節寄せ本 (帙外題) (江戸中期) 刊 横合一冊 29 | 214

\* 細目「桃桜重井筒」「道行夢のかよひ路」「三勝半七心中道行」「妖蝶菜種の油」「新うすゆき物語」「七本松恋の柵」

「在所駕籠」「傾城出口柳」「茜染浮名色揚」「傾城無間鐘」「うつ、のくぜ川」「契情吉原筏」「反魂香夫乞獅子」「陸月

連理戀」「加賀お菊妹背中酌」「道行故郷の名残」「雙紋刀銘月」「唐崎夜の八けい」「夜のおひ鶴」「千代の若緑」「す

みだ川狂女道行」「紅の染小袖」「高野まんねん草」「寿の門松」「朧月うつ、女夫」「小町大鏡」「魚づくし」等。帙題

〔森銑三〕筆。

229 常磐津節 (外題) [幕末] 刊 (名古屋、玉沢屋新七) 中合一冊 29 | 186

\* 絵入原表紙。全二三種。「新曲釣女」「だんまり／夜雨角田の寄木」等。国文研整理書名「常磐津節正本」。

VI 歴史

I 日本史

(1) 系譜

230 新撰姓氏録 三卷・目録一卷 万多親王等撰、橋本稻彦校 文化四年刊・天保五年印 (大坂、加賀屋善蔵) 大四冊 29 | 136

\* 外題 (原題簽角書) 「訂／正」。序題「訂正姓氏録」。目録題「姓氏録」。本居大平序。印記「琴香書庫」「多藝廼舎蔵書」。

VII 地理

I 日本地誌

231 名所車 正徳四年刊 (京、上村四郎兵衛) 小一冊 29 | 161

\* 絵入。帙外題「花のみやこ／名所車」「正徳四年刊／絵入」(「森銃三」記)。別書名「花のみやこ」。奥二「遷水蔵」ト朱筆。

232 肥前国風土記 荒木田久老校 寛政一一年刊 (大坂、鹿田静七) 大一冊 29 | 163

\* 長谷川菅緒序。鹿田松雲堂蔵版目録アリ。

233 須磨菜 真鍋豊平編 [嘉永元年] 刊 横一冊 29 | 218

234 湯温海縁記 百花園著 安政四年写 小一冊 29 | 162

\* 絵入 (手彩色)。帙外題「湯温海縁起」「百花園自筆草稿／安政四年成 原本」(「森銃三」記)。序二「干時安政四のとし／丁巳仲秋立待月の旦／百花園記 (竹篸居) 印」アリ。

235 異郷録 四卷 [江戸後期] 写 大二冊 29 | 143

\*主ニ東北地方ノ狩獵者ラガ伝エル狩ノ伝書『山立根本卷』ノ類本ノ広本カ。目錄題「異郷古実録」。

VII 教育

1 教訓

236 〔人鏡論〕

〔江戸中期〕写

大一冊  
29 | 89

\*外題「道無入道物語」(後補書キ題簽)。序「文亀三年孟春初五日 正二位左大臣公藤序之」(偽序)。跋「長享元年冬十一月如意珠日 武林源義政」(偽跋)。

2 心学

237 一心の棚卸し身苦去の神宝 三卷

奥津湖山著  
寛政一二年跋刊

大一冊  
29 | 164

\*自序。自跋。

3 教科書

(1) 往來物

238 おくれし雁

藤井高尚著  
文化八年刊(京、城戸市右衛門等三肆)

大一冊  
29 | 165

\*文化四年成。林秋吉序。

IX 諸芸

1 華道

239 古田流生花独稽古

古来庵松堂著  
明和六年刊(江戸、西村源六・野田七兵衛)

小一冊  
29 | 167

\*絵入。自序。

2 遊技

(1) 法鷹

240 鷹秘伝書

寛文三年写

中一帖

29  
|  
168

\*折本。両面書写。絵入(彩色)。畳紙ニ「祢津家家伝 鷹飼方秘書 寛文三」ト墨書。

【準漢籍の部】

I 子部

(1) 道家類

241 老子繹解

二卷

皆川淇園著

寛政九年序刊・〔明治〕印(東京、武田伝右衛門・大川錠吉)

大二冊

29  
|  
141

\*富士谷成基序。



書名索引

- 一、索引は、目録所載の書名を対象とし、その掲出位置を通し番号で示した。
- 一、標目として立項される書名を本項目とし、\*以下の記事に見える整理書名や統一書名・細目等は「見よ項目」とした。
- 一、冠称（角書）が存する書名は、そのある形を本項目とし、（ ）に括って前置した。また、これを省いた形の書名を「見よ項目」とした。
- 一、排列は、書名の通例の読み方により、現代仮名遣いの五十音別に拠った。
- 一、同一書名の排列は、かなによるものを先に、漢字によるものを後にした。
- 一、異なる書が合写・合綴されている場合は、それぞれを立項した。
- 一、書名の軽微な差異についてはこれを無視し、いちいち立項しなかった。
- 一、索引は糸汐里が作成した。

相生の松	あ	72	厳島縁起 ↓いつくしまのほん地	26
間の扣		221	厳島大明神縁起	62
茜染浮名色揚		228	いつくしまのほん地	237
顕季集 ↓六条修理大夫集			一心の棚卸し身苦去の神宝	88
蜻蛉の道草		17	一对男時花歌川	
吾妻等譜		214	今は昔 ↓世継物語	183
あつた大明神の御本地		222	いよぶし	183
(文章巻物神楽太鼓) 栗嶋譜嫁入雛形		224	いろ里町中おおはやりいよぶし	198
菖蒲草檐五月雨		80	陰号解	198
栗嶋譜嫁入雛形 ↓(文章巻物神楽太鼓)	栗		陰字弁 飯田方言歌	198
鳴譜嫁入雛形			う	29
い			うひ山ふみ	228
飯田方言歌		198	魚づくし	134
異郷録		235	右京大夫	81
石童丸菖萱札書ノ段		183	浮世くらべ	50
伊勢音頭		169	宇治拾遺物語	36
(伊勢音頭) 二見真砂	166	167	うすひき歌信抄	183
(伊勢川崎音頭) 二見真砂		168	歌祭文	97
伊勢大神宮神遊歌集		150	歌袋	42
伊勢物語		38	宇津保物語	184
石上私淑言		98	梅川忠兵衛恋のおも荷さいもん	1
			浦島子伝	



金五郎歌さいもん	184	弘仁曆運記考	13	古はうた	158
金葉集抄出	109	高野まんねん草	228	狐媚記	1
く		行余集	144	小町大鏡	228
傀儡子記	1	子踊音頭本	175	子もり歌	193
くす花	18	小踊り本	173	子安観世音略縁起	32
句題和歌 ↓大江千里集		後柏原院御集 ↓柏玉集		子易の本地	70
紅の染小袖	228	古今集注冷泉家伝 ↓古今和歌集注		小世継物語 ↓世継物語	
群書類従	1	古今和歌集注	100	金剛界五仏真言	32
け		古今和歌集遠鏡補正	101	さ	
傾城出口柳	228	古今名公批点和歌	116	在所駕籠	228
傾城無間鐘	228	古史徴	10	催馬楽譜入文	152
契情吉原筏	228	後拾遺集抄出	109	桜の林	6
桂林漫録	4	後拾遺和歌集	108	沙石集 ↓シヤセキシユウ	
外遷宮之次第	21	後拾遺和歌抄	107	沙石集 ↓新選沙石集	
血盆経和讃	32	御所音頭 秋の一声	176	定頼集 ↓四条中納言	
玄々集	126	後撰和歌集書注	102	山家鳥虫歌 ↓諸国盆踊の唱歌	
源三位頼政家集	130	古道訓蒙頌	15	三勝半七心中道行	228
現存和歌六帖	115	古道大意	11	三芝居役者あふつゑ	186
建保勅点五十首	116	澁都酒美選	82	三人懺悔冊子 ↓三人ほうし	
建礼門院右京大夫集		ことば入意気などゝーしん板	178	三人ほうし	71
↓右京大夫		寿の門松 ↓ネビキノカドマツ		散木奇歌集	129
建礼門院右京大夫集	135	此所ちよつとそえもの大津絵もんく	183	し	





同当寺靈物靈宝一二記	32	ね	反魂香夫乞獅子	228
東都中野明王山宝仙寺并井頭池渴水涌出畧		子聖大薩埵略縁起	ばんとぶし	183
縁起	32	寿の門松	ひ	
答問録	7	年山打聴 ↓紀路歌枕抄	肥前国風土記	232
富樫	219	の	一本菊	69
常磐木	76	能間 ↓間の扣	百人一首拾穂抄	117
常磐津節	229	は	百人一首新抄	118
常盤津節正本 ↓常磐津節		はうた大よせ	ひようごくどき甚九ふし助六あげ巻	181
土佐日記〔解〕	93	端唄集 ↓端調づくし	ひようごくどき俗謡等合綴	181
とつちりとん節	183	端唄集 ↓はうたよせ本	ひようごくどきはやりおんど円正寺おすぎ	181
都々逸大一坐	178	端調づくし	赤間関坊主落	181
とりかへばや	44	花畦一夕話	ひようごくどきはやりおんど長崎ゑびや甚九	181
な	45	端歌部類 初編	ひようごくどきはやりおんど八しまのてが	181
内侍所御神楽歌	151	はうたよせ本	ら那須の与市	181
長唄馬歌集	86	白隠禪師施行歌	兵庫築島伝 ↓兵庫築嶋伝記	78
中院前内府藤河百首	116	柏玉集	兵庫築嶋伝記	
那智御山手管滝	77	はつしくれ ↓住吉物語	ふ	
南総里見八犬伝 ↓はまぢくどき		花のみやこ ↓名所車	富士山記	1
に		蛤の草子	富士山出現輿袴地藏尊略縁起	32
丹生津比売及高野大明神仕丹生祝氏	20	はまぢくどき	富士人穴縁起	68
西宮左大臣集	125	はやりうた	富士の人穴草子 ↓富士人穴縁起	
如意輪正観世音古縁略写	32	(はやりおんど) 大工惣兵衛	伏見常盤	218

藤原宗房歌集	139	松の二葉 ↓(増補) 松の二葉	文覚上人行略抄	34
藤原義孝集	124	万年樹下詠草 ↓櫃か本詠草	や	39
豊前国宇佐八幡宮略縁記	27	み	大和物語抄	40
妖蝶菜種の油	228	道無入道物語 ↓人鏡論	ゆ	
雙紋刀銘月	228	道行故郷の名残	湯温海縁記	234
二見真砂 ↓(伊勢音頭) 二見真砂	228	道行夢のかよひ路	遺告住山弟子等	20
古田流生花独稽古	239	三津の浜	遊女記	1
ほ		宮古路豊後節寄せ本	百合若大臣	220
細川左京大夫自歌合 ↓細川高国自歌合		む	よ	
細川高国自歌合	133	武蔵国六阿弥陀縁起	よしこの恋のしをり 二編	200
暮年記	1	陸月連理戀	よしこの節	201
本朝怪談故事	55	め	義孝集 ↓藤原義孝集	
ま		名所車	吉原はやり小哥そうまくり	155
前川観世音并略縁起	32	めいとこの飛脚さいもん	世継物語	58
枕草子春曙抄 ↓春曙抄		も	頼政家集 ↓源三位頼政家集	
十寸見要集	227	本末講解	夜のおひ鶴	228
町つくし ↓(新板) 町つくし		ものがたり ↓とりかへばや	夜聖	2
松かげ神記	207	紅葉節踊音頭 ↓御所音頭 秋の一声	ら	
松たけものかたり	72	紅葉節踊音頭	蘭曲大竹集 ↓浄るり道行づくし	
松竹物語	72	桃桜重井筒	り	
松言葉	143	文覚上人行状記 ↓(説教図録) 文覚上人	竜宝山愛染院観音寺略縁起	209
松の葉	154	行状記		32

老子釋解 ろ

六条修理大夫集

わ

和歌 ↓現存和歌六帖

別雷社歌合 ↓(治承二年)賀茂社歌合

和琴譜

213

131 241